

櫻庭 節子

要 請 ・ 陳 情 活 動 費 一 覽

合計額

5,700 円

(出金日)

	年	月	日	経費(摘要)	金額(円)	領収書等No.
1	6	11	26	要望活動交通費:高速料金 柿崎IC～新潟西IC 往復 NEXCO東日本	5,700	1
小計					5,700	

政務活動費出金票

出 金 日	令和 6年 11月 26日
項 目	要請・陳情活動費
摘 要	要望活動交通費:高速料金 柿崎IC～新潟西IC 往復 NEXCO東日本
金 額	5,700 円

(↓領収書等貼付↓)

支 払 証 明 書

支払金額 5,700 円

内 訳 要望活動交通費:高速料金 柿崎IC～新潟西IC 往復 NEXCO東日本

- ・支払年月日 令和 6年 11月 26日
- ・支払先 NEXCO東日本
- ・支払内容及び領収書が徴されない理由

ネットのアカウントから転載したので名前は記載されていません

上記のとおり支払ったことを証明する。

令和 6年 11月 26日

議員名: 櫻庭 節子

ご利用ありがとうございます。

利 用 証 明 書



料金所(自) 柿崎
料金所(至) 新潟西第一
24年11月26日 8時43分

通行料金 ￥2,850-

(ETCクレジット) 車種 1
※通行料金の消費税率は10%です。
※通行料金は確定していません。

取扱番号
A14411-269729-856125

※本利用証明書はETC利用照会サービスで印字されたものです。

ご利用ありがとうございます。

利 用 証 明 書



料金所(自) 新潟西第一
料金所(至) 柿崎
24年11月26日 17時49分

通行料金 ￥2,850-

(ETCクレジット) 車種 1
※通行料金の消費税率は10%です。
※通行料金は確定していません。

取扱番号
A14411-269807-034025

※本利用証明書はETC利用照会サービスで印字されたものです。

令和6年11月6日

保守系女性議員の会
「雪椿の会」会員 各位

保守系女性議員の会「雪椿の会」
会 長 高見 美加
事務局長 荒木 法子

令和6年 雪椿の会総会・勉強会・知事予算要望のご案内

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃より雪椿の会の活動に格段のご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

標記の件に関しまして、下記の通り雪椿の会総会、勉強会、知事予算要望を開催いたしますので、万障お繰り合わせのうえご参加いただきますようお願い申し上げます。なお、勉強会の詳細は決まり次第お知らせ申し上げます。

記

日 時 令和6年11月26日(火) 13:00～16:00

会 場 自由民主党新潟県支部連合会 県庁役員室大会議室
新潟市中央区新光町4-1 新潟県議会庁舎2F

日 程 13:00～13:30 総会(活動予定・予算・決算等)
13:30～15:00 勉強会
テーマ「経済対策とイノベーション関連」
講師未定(県産業労働部と調整中)
15:30～16:00 知事予算要望

出 欠 11月19日(火)までに、別紙回答用紙の①～③について回答のうえ事務局宛てに
FAXまたはメールにてお知らせください。
FAX: 025-285-0248 / メール: ktanaka@jimin-niigata.jp

そ の 他 知事予算要望から参加される場合は、開始15分前までに県庁議会庁舎2F自民党役
員室にお越しください。

以上

【お問合せ先】
雪椿の会事務局
新潟市中央区新光町15-5
TEL: 025-285-5011

令和6年11月26日

新潟県知事

花角英世様

雪椿の会 令和7年度予算要望

雪椿の会 一同

雪椿の会

令和7年度 県予算要望について

◆重点要望

1. 民生委員が活動しやすい環境の整備と担い手確保

人口減少が進むなか、地域住民の身近な相談相手となり、支援を必要とする住民と行政や専門機関をつなぐパイプ役を務める民生委員の重要性が増しています。しかし、本県の民生委員（民生委員・児童委員）は29市町村中15市町村において欠員があり計97人が不足している状況です。特に国が定める配置基準において、広域を担当しなければならないケースもあることから、民生委員の空白が長く続く地域もあります。民生委員改選期が迫っていることから地域の実情を踏まえた弾力的な定数設定と協力員制度の導入など業務負担の軽減、処遇改善、理解度の向上に資する取り組みを行っていただきたい。

2. 不登校児童・生徒と保護者への支援を強化

新潟県内小中学校の不登校は5,617人、8年連続で増加している。全国では34.6万人、前年度を4.7万人上回る勢いで増加しているが、その4割ほどが専門的な相談指導を受けていないというデータもある。保護者が相談できる環境を整備するほか、県内のフリースクールを利用する児童生徒への補助事業を確立するなど、支援を強化していただきたい。

◆個別要望

●人口減少対策について

1. 地方での働く場の確保を含めた地方分散型社会の実現について取り組みを強化すること
2. ハッピーパートナー企業登録と付随する事業等を推進するためインセンティブ部分の広報を強化すること
3. 農林業に携わる女子への移住支援事業を確立すること
4. ハートマッチにいがたの登録者数を増やすため、戸籍謄本取得など登録者の負担を減らすこと
5. 新潟県で仕事と育児の両立体験ができるようなインターンプログラムの実施すること
6. 夫の育児休暇に対して企業への支援を強化すること

●福祉・保健について

1. 地域医療圏における診療科目の調整を進めるとともに、人材確保および健全経営に向けた支援を行うこと
2. HPV(子宮頸がん)ワクチン接種について、キャッチアップ接種も含む全ての対象者に周知を徹底すること
3. 産前産後のオンラインによるメンタルヘルスケア事業を充実させること
4. プレコンセプションケアを中高生向けに実施すること

●観光・文化振興について

1. 八十里越(国道289号)開通を見据え、観光に必要な二次交通の確保など広域観光を推進すること
2. 成長が見込めるイベント等の観光コンテンツの育成、継続実施の財政支援、インバウンド誘客に向けた県を中心とした広域的な観光連携による発信、売込強化など新潟県観光コンテンツの磨き上げをすること
3. 科学館等の常設展示物を現代の科学進歩に合わせてブラッシュアップすること

●教育について

1. 義務教育課程における教員へのアレルギー研修の強化と無理のない栄養教諭の配置を行うこと
2. 学生向け理数教育プログラム『N-Step 新潟』は非常に良い取組。向学心、探求心の高い県内小中学生、高校生に向け先進技術、理系、英語力向上の学習機会を提供すること
3. 県立高校等再編整備計画を策定するうえで、過疎地の子どもたちの通学時間、保護者の通学における交通費負担増や、駅やバス停までの送迎負担を鑑み、必要な支援を検討すること

●防災対策について

1. 液状化対策をはじめ災害に強いまちづくりを推進すること
2. 防災・危機管理部局、地域防災会議、避難所運営など災害・防災に関わる施策の女性比率を上げること
3. 新潟県核燃料税の各市町村への配分を明確化すること